

新潟県

定数：4名

立候補者数：4名



氏名 田中 健

都道府県士会 新潟県

年齢 51

勤務先名称 桑名病院



氏名 郷 貴大

都道府県士会 新潟県

年齢 53

勤務先名称 看護リハビリ新潟保健医療専門学校

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

新潟県理学療法士会の理事とし、生涯学習部を担当してまいりました。県士会員の代弁者として活動していくために、代議員に立候補いたしました。理学療法士が今後更に地域、社会にて貢献できるように活動していきたいと思っております。どうかよろしくお願いたします。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

- 2007年 新潟県理学療法士会 理事・広報部長
- 2011年 新潟県理学療法士会 理事・事務局次長
- 2015年 新潟県理学療法士会 理事・事務局長
- 2015年 日本理学療法士協会 代議員
- 2019年 新潟県理学療法士会 理事・事務局長・副会長
- 2022年 日本理学療法士協会 代議員

(～現在に至る)
これまで新潟県理学療法士会の理事として約16年間、日本理学療法士協会代議員として約8年間務めさせて頂きました。

新潟県理学療法士会は、この間に公益社団法人となり県士会に求められる役割も多様になって参りました。そのため、県士会と協会がより連携していく必要性も大きくなっていきます。

理学療法士の数は増え、国民・県民への理学療法士の認知度も確実に上がってきています。しかし、複雑な社会情勢の中で、未だ十分な理学療法を国民・県民に提供できているとは言えないと考えております。今後、十分な理学療法を提供していくためには、県士会と協会がより連携していく必要があり、まずは協会が社会のニーズに答えていく必要があります。また、それらのために理学療法士が安心して働ける環境の構築も必要であり、これにも協会・県士会の連携が欠かせません。

そこで、これまでの経験を活かし、まずは協会を社会や理学療法士のニーズに応えられる組織にすべく、この度代議員に立候補させて頂きました。



氏名 中山 裕子

都道府県士会 新潟県

年齢 55

勤務先名称 新潟中央病院



氏名 高鳥 真

都道府県士会 新潟県

年齢 55

勤務先名称 晴陵リハビリテーション学院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【役員歴】

協会：2012年～ 代議員
士会：2009年～ 理事
2016年～ 副会長・社会職能局長

【立候補の趣旨】

私は、現在士会で副会長および社会職能局長を務めています。近年、予防分野の活動が広がり、理学療法士がより社会へ貢献できるようになってきました。特に産業理学療法分野では、協会と共に事業所において会員に活動していただく機会・場を設けることを進めています。この動きを継続的に推進してゆくためにも、また、現場での会員の声を反映させるためにも代議員として活動してゆきたいと考え立候補いたしました。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成19年 第42回日本理学療法士学会 学術局員
平成21年～(公社)新潟県理学療法士会 理事 平成23年～平成27年3月 (公社)新
平成27年～平成29年 (公社)新潟県理学療法士会 理事 学術局長・学会研修会部
長
平成28年～(公社)日本理学療法士協会 代議員
令和元年～現在 (公社)新潟県理学療法士会 理事 副会長・学術局長兼務

現在、新潟県士会理事として副会長兼学術局長および学会準備委員長を務めさせていただいております。令和4年度からスタートしました新生涯学習システムは様々な問題はあるものの、ある程度軌道に乗ってきている印象を受けます。この新しい生涯学習システムの導入を通じて、県内における学術研修体制を模索し一昨年より「領域別研修会」を導入してきました。現在、当士会には20数名の専門理学療法士、200名近い認定理学療法士が在籍しています。この「領域別研修会」は、日々自己研鑽に勤しんでおられる県士会員の皆様に研修会の企画・運営を行っていただき、さらには研修会の講師として自身の研究成果や日々の臨床での成果を「伝える」場になることを期待しているものです。そしてその先に専門領域別の組織体制の構築、法人としての生涯学習センターの設立を目指して参りたいと考えております。そのためには、(公社)日本理学療法士協会との連携・運動を強化し、県士会員一人一人の研鑽を支援し自己成長を継続する環境を整備していくことが重要と考え、引き続き、代議員に立候補致しました。会員の皆様方のご支援を宜しくお願い申し上げます。